

衆議院予算委員会ニュース

平成 20.2.26 第 169 回国会第 14 号

2月26日、第14回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度一般会計予算
平成 20 年度特別会計予算
平成 20 年度政府関係機関予算
- 年金・医療等社会保障問題について、福田内閣総理大臣、増田総務大臣、額賀財務大臣、渡海文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、町村国務大臣（内閣官房長官）、大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）、上川国務大臣（少子化対策担当大臣）、森山財務副大臣、西川厚生労働副大臣及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

丹羽雄哉君（自民）

- 年金の財政方式として、社会保険方式と税方式があるが、税方式にした場合の財源となる消費税の増税規模、事業主負担が家計負担に置き換わるなどを考えると、税方式は国民の理解を得られないのではないか。
- 国民年金の未納・未加入問題は、どのように解決すべきなのか。
- 医師不足について舛添厚生労働大臣はどのような認識を持ち、どのような対応を考えているのか。
- 介護現場の厳しい状況を踏まえ、介護従事者の待遇や賃金を改善すべきではないか。

福島豊君（公明）

- 社会保障国民会議の議論に臨む福田内閣総理大臣の決意について伺いたい。
- 医療サービスを提供する体制構築のための財政の補助の在り方を検討すべきではないか。
- 国民負担率と国際競争力との関係について大田経済財政政策担当大臣の認識はどうか。
- 少子化対策にどのように取り組むのか。

平岡秀夫君（民主）

- 薬害肝炎問題を内閣総理大臣としてではなく、自由民主党総裁として議員立法により救済したことについて、福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- 肺がん治療薬「イレッサ（ゲフィチニブ）」の承認・導入時の副作用に関する対応や医薬品副作用被害救済制度への適用などについて、政府の見解を伺いたい。
- これまでの薬事行政における厚生労働省の責任を舛添厚生労働大臣はどう考えるか。

山井和則君（民主）

- 年金業務刷新に関する政府・与党連絡協議会「年金記録に対する信頼の回復と新たな年金記録管理体制の確立について」（平成 19 年 7 月 5 日）は、福田内閣の公約と考えてよいのか。
- 「消えた年金」についての相談における社会保険庁の対応を改善する必要があるのではないか。
- 税方式による基礎年金制度について、福田内閣総理大臣及び舛添厚生労働大臣はどう考えるか。

前原誠司君（民主）

- 医師及び看護師の少ない介護施設では、療養病床の再編で、医療又は介護療養病床から移行させられる医療区分 1 及び 2 の患者の介護はできるのか、また、現状の低賃金で介護人員増を確保できるのか。
- 予防医療の見地から企業における歯科定期健診を充実させるべきではないか。
- あるべき医療の姿を描くため、社会保障費の自然増を 2,200 億円抑えるキャップを外す必要があるのではないか。また、財源としてたばこ税の引上げなど広く検討すべきではないか。

松本剛明君（民主）

- 福田内閣総理大臣は施政方針演説において、現行の社会保障制度の持続可能性が問われている旨述べているが、この持続可能性に関してどのように考えているか。
- 現行の年金制度自体を抜本的に改革する必要があると思われるが、福田内閣総理大臣はどのように考えているか。
- 後期高齢者医療制度を独立した医療制度とするメリットについて、舛添厚生労働大臣はどのように考えているか。
- 後期高齢者医療制度は、廃止を含めて抜本的に改革する

必要があると思われるが、福田内閣総理大臣はどのように考えているか。

長 妻 昭君（民主）

- ・旧令共済について、軍人期間が12年未満でもその後公務員になると基礎年金期間に通算されるが、サラリーマン等になると通算されない制度について見直しを検討すべきではないか。
- ・国民年金を含めた被用者年金一元化をすべきとの意見に対して福田内閣総理大臣はどのように考えるか。
- ・年金記録照合について厚生労働省、社会保険庁の職員を外し他省庁から新しい職員を入れたプロジェクトとしてやり直すべきとの意見について福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・平成18年度決算ベース支出250.9兆円（一般特別純計）のうち無駄遣いはどれくらいあると思うか。

高 橋 千鶴子君（共産）

- ・医学部定員削減に関する閣議決定は医師不足の原因であり、撤回すべきではないか、また、過重労働や辞職希望の多い現状から医師及び看護師を増員すべきではないか。
- ・公立病院改革ガイドラインは自治体病院再建に役立っているのか、また、交付税措置を拡充する必要があるのではないか。
- ・公立病院の再編ネットワーク化に際して減員となる施設の職員の処遇についてはどう考えているのか。

阿 部 知 子君（社民）

- ・医師不足が深刻な問題となっているが、政府は今後10年間でどの程度医師の数を増やすのか。具体的な目標はあるのか。
- ・大学医学部の全体の定員の見直し及び大学医学部の学士入学枠の拡大について、渡海文部科学大臣はどのように考えるか。

糸 川 正 晃君（国民）

- ・救急医療の見直しについて地域における救急医療の整備体制、高度救急救命センターの役割の見直し等も含めてどのように考えているのか。
- ・診療報酬改定において救急医療に重点的に報酬配分をしたことにより300床規模の病院で5,000万円の増収が見込まれるとのことだが、救急医療を行っている中小の病院でも増収が見込まれると考えてよいのか。
- ・救急医療が崩壊の危機に瀕しているなか今後も社会保障分野で毎年2,200億円の歳出削減を行っていくのか。
- ・安定的な財源としての消費税上げが議論されているが、政府・与党は消費税を目的税化とすることについてどう考えるか。